

経済データ入門

科目ナンバリング ECS-101
選択必修 2単位

中西 宏太

1. 授業の概要(ねらい)

大学生・社会人が常識として知っておくべき経済情報・データは多い。
本講座では、知っておくべき経済社会データを薄く広く理解し獲得することを目的とするため、ある程度の統計・情報を覚える事が求められる。
ところで、地図は「読む」といい、「見る」とは言わない。つまり、地図は単に「見る」のではなく、「読み・理解」するものであることがそこからわかる。そして、世の中には地図を「読めない」人が多くいるように、統計データも本人は「見て」いるだけで「読め」ていない人が実は多くいる。統計データには多くのウソがあり、データを「読めない」多くの人が騙されてもいる。そこで、本授業は、数字やグラフで示される経済データを「見る」のではなく、その真実とそれが訴えていることを「読み・理解」できるようになることも目的とする。
また、ASEANについての経済データもトピックスとして扱う予定。なお、数学的手法は使わない。

2. 授業の到達目標

各種経済社会データの定義、価値、読み方を理解するとともに、自分の頭でデータを「読みこなす」能力をつけることを目標とする。
学生・社会人として知っておくべき経済データ・情報を理解し覚える。

3. 成績評価の方法および基準

コロナ禍対応のため、授業の形態・受講生数によって対応を確定する予定。
基本的には、出席状況を鑑み、毎回のオンライン確認テストと中間テストで60点、期末試験で40点の配分で評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

第一学習社 『最新政治・経済資料集(2022年度版)』 第一学習社
国際機関日本アセアンセンター 「ASEAN情報マップ」(2020)(授業で配布) 国際機関日本アセアンセンター
新家義貴 『予測の達人が教える 経済指標の読み方』(2017) 日本経済新聞出版社
ハンス・ロスリング 『FACTFULNESS』(2019) 日経BOP社
東洋経済新報社 会社四季報 業界地図(2022年度版) 東洋経済新報社
日本経済新聞、日経ビジネス、日本政府・国際機関HP、他

5. 準備学修の内容

事前学修は特に必要無いが、復習を毎回行うこと。
例えば、日本のGDP額や人口、GDPの定義や基本的な統計の読み方・数字は覚えること。

6. その他履修上の注意事項

授業の教材については都度説明する。
プリント・資料をLMSにアップするので参照のこと。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション:授業の進め方・評価基準の説明
経済データとは何か:過去を知る、現在を知る、未来を知る
(コロナ対策によっては、授業形態などに変更があります)
- 【第2回】 GDPの定義、経済成長の変遷
- 【第3回】 社会データの種類と出所
データをどうやって探すのか
(GDP、人口、コロナ禍による経済の推移などを例に)
- 【第4回】 平均とは何か
比較とは何か
因果関係・相関関係とは何か
- 【第5回】 国際経済(1)貿易・投資
- 【第6回】 国際経済(2)経済格差・為替
- 【第7回】 東南アジアの経済社会事情
(ASEAN情報マップを読む) オンライン中間テスト
- 【第8回】 景気予測・物価・株式・市況
- 【第9回】 企業グループ情報(国内)
- 【第10回】 企業グループ情報(世界・ASEAN)
- 【第11回】 日本の財政
- 【第12回】 賃金・高齢化・社会政策
- 【第13回】 『ファクトフルネス』を読む
- 【第14回】 総復習・期末テスト
- 【第15回】 日経新聞の経済データを読む(オンライン)